

吹田東高校 46期生 2年生進路だより No.6

～進路先を研究しよう～

2020/07/02

I 入試制度改革

2021年度の大学入試は、大きな制度改革が予定されています。

1. 共通テスト

- (1) センター試験での「知識」「技能」を問う問題だけでなく、「思考力」「判断力」「表現力」を問う問題がでてきます。
- (2) 数学①の試験時間が70分(センター入試は60分)
- (3) 英語のリーディングとリスニングの配点割合が1:1(センター入試は4:1)
- (4) 理科は選択問題がなくなる →不得意な分野も避けては通れない。

2. 「入試」から「選抜」に

旧制度	新制度(2021年度から)
一般入試	一般選抜
推薦入試(指定校制・公募制)	学校推薦型選抜
AO入試	総合型選抜

「学校推薦型選抜」では、学力検査が課されます。特に、これまでの指定校推薦は、定期テストで高得点を取り、調査書が基準に達してさえいれば、ほぼ面接だけで合格できましたが、もはや評定と面接だけで合格できる入試ではなくなります。

「総合型選抜」では、従来同様に受験生自身は志望理由や自己PRを書かなければなりません。学力検査が必須となるようです。

「調査書」の記載内容が見直され、評定平均値だけではなく、特長や特技、部活動やボランティア活動、留学・海外経験、取得資格・検定、表彰の記録などの様々な取り組みを、より詳細に記入する形になります。つまり、高校生活において、課外活動も重要なポイントになってくる、ということです。

あなたは、自分で自分の自己推薦書を書くことができますか。特に、部活動に入っていない人は、何を自己アピールに使いますか。大学で学びたいことを探りながら、興味のある事柄には積極的に取り組んでいきましょう。活動の積み重ねが、「総合型選抜」「学校推薦型選抜」での自己アピールにもつながりますし、何よりもあなたを成長させる経験として、その後の人生を有意義なものにしてくれるでしょう。

II 受験科目と科目選択

共通テストの入試日程が発表されましたが、各学校の入試日程については、まだ不確定な部分もあります。特に2021年度入試は、コロナ禍の影響もあり、入試日程にも影響がでてくるでしょう。しかし、国公立・私立ともに、概ね受験科目に大きな変更はないものと思われます。

基本的な受験科目をあげておきますので、科目選択や志望校を決めるうえで参考にしてく

ださい。但し、あくまでも基本パターンなので、志望校の受験科目は必ず調べましょう。受験科目を調べるときは、科目数の多い一般選抜の入試科目を調べましょう。少ない科目で受験できる推薦型で、合格できると思わないこと。必ず、年明けの一般選抜を受験するものと想定して計画をたてましょう。

自分の受験科目がわかれば、それに基づいて3年生の科目を選択しましょう。

1. 私立編

私立文系 個別選抜の基本パターン	
3教科3科目: 外国語 + 国語 + 地歴・公民 or 数学	
国語	古文・漢文を除外している大学・学部もあるが、文学部と上位校の一部は古文・漢文必須
地歴・公民	日本史／世界史／政治・経済／地理の中から1科目選択。ただし、政治・経済や地理での受験を認めていない大学・学部もある。
数学	大学・学部によって出題範囲が大きく異なる。また、数学を認めていない大学もある。

私立大・文系は英語と国語と地歴・公民の3教科3科目が基本です。特に、国語と地歴・公民には注意しましょう。国語では、現代文と古文を課す大学がほとんどですが、一部の大学・学部では漢文を課すところもあります。また地歴・公民でも、政治・経済や地理の受験を認めていない大学や、数学での受験を認めている大学も多くあります。数学を選択するケースは、数学が相当得意な場合です。数学で受験する受験生は少ないため低倍率になりやすいのですが、できた場合とできなかった場合の落差が激しい教科であるため、安易な選択は危険です。

私立理系 個別選抜の基本パターン							
3教科3科目: 外国語 + 数学 + 理科							
数学	学部系統によって出題範囲が大きく異なるので注意が必要。						
	<table border="1"> <tr> <td>IA+IIB</td> <td>薬学部、栄養学部、農学部 看護・医療技術学部、歯学部</td> </tr> <tr> <td>IA+IIB+III</td> <td>工学部、理工学部、理学部、医学部</td> </tr> </table>	IA+IIB	薬学部、栄養学部、農学部 看護・医療技術学部、歯学部	IA+IIB+III	工学部、理工学部、理学部、医学部		
	IA+IIB	薬学部、栄養学部、農学部 看護・医療技術学部、歯学部					
IA+IIB+III	工学部、理工学部、理学部、医学部						
理科	物理、化学、生物の中から1~2科目を選択する。また、受験科目が指定されている大学・学部もあるので、注意が必要。						
	<table border="1"> <tr> <td>薬学部</td> <td>化学</td> </tr> <tr> <td>看護・医療技術学部</td> <td>生物</td> </tr> <tr> <td>工学部・理工学部</td> <td>物理を指定する大学が多い</td> </tr> </table>	薬学部	化学	看護・医療技術学部	生物	工学部・理工学部	物理を指定する大学が多い
	薬学部	化学					
看護・医療技術学部	生物						
工学部・理工学部	物理を指定する大学が多い						

私立・理系では数学の出題範囲と理科の選択に注意しましょう。数学は学部系統によって、数学Ⅲまで含むケースがあります。理科も同様に、学部・学科によっては受験科目が指定されている場合もあります。また、一部の上位校や医学部では理科2科目を課す大学があるので、選抜要項等で確認するようにしましょう。

【注意】看護・医療技術・栄養系の学部では現代文が課される場合があるので注意が必要。

安易な絞り込みは選択の幅を狭めることになります。私立大の学校推薦型選抜では、1科目または2科目で受験できる選抜方式を設けている大学もあります。受験科目が少なければその分負担は減ることになりますが、早い段階で安易に科目数を絞り込むのは危険です。併願校を考える際に選択の幅を狭めることがないように、あくまでも 3科目型をベースにして勉強を進めましょう。

2. 国公立大編

国公立文系の基本パターン	
共通テスト:5 教科 7 科目 <div style="display: flex; justify-content: center; gap: 10px;"> 外国語 数ⅠA 数ⅡB 国語 地歴・公民 地歴・公民 理科 </div>	
地歴・公民	日本史／世界史／地理／現代社会／倫理／政治・経済／倫理・政経の中から2科目を選択。但し、大学・学部によって条件がちがうので確認すること。
理科	物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎の中から2科目、または物理／化学／生物／地学から1科目を選択が一般的。
外国語	基本は英語。リスニング試験あり。
+	
大学別（個別）試験（前期日程） <div style="display: flex; justify-content: center; gap: 10px;"> 外国語 数学ⅠA・ⅡB 国語 地歴・公民 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主流は2～3教科型だが、難関大では4教科を課すなど、科目数、内容は大学・学部によって異なる。 ・ 後期日程では教科数を1～3教科に減らすケースや、小論文や面接、実技を課す大学もある。 ・ 個別試験を行わず、共通テストの得点だけで合否を決定する大学もある。 	

勉強するから、何をしたいのかが分かる。

勉強しないから、何をしたいのか分からない。

北野 武

国公立理系の基本パターン

共通テスト:5 教科 7 科目

外国語 数ⅠA 数ⅡB 国語 地歴・公民 理科 理科

地歴・公民

日本史／世界史／地理／現代社会／倫理／政治・経済／倫理・政経の中から1科目を選択。但し、大学・学部によって条件がちがうので確認すること。

理科

物理／化学／生物／地学の中から2科目を選択が一般的。

外国語

基本は英語。リスニング試験あり。

+

大学別（個別）試験（前期日程）

外国語 数学ⅠA・ⅡB 国語 理科

- ・ 主流は2～3教科型だが、難関大では4教科を課すなど、科目数、内容は大学・学部によって異なる。
- ・ 後期日程では教科数を1～3教科に減らすケースや、小論文や面接、実技を課す大学もある。
- ・ 個別試験を行わず、共通テストの得点だけで合否を決定する大学もある。

III 高2でやるべきこと

高2は、受験に向けて基礎を固める時期です。入試を意識した特別な対策が必要なわけではありません。入学試験のほぼ80%が高1、高2で習う範囲から出題されます。授業内容を理解し、定着のために家庭学習をしましょう。

以下に、みなさんがやるべきことを挙げています。これを元に自分のスケジュール表を作ってみてください。

- 1 授業当日や週末に習ったことを少しでも復習する。
- 2 少なくとも定期考査2週間前から意識してテスト勉強する。
- 3 休日や長期休暇中のゆとりのあるときに、苦手科目を勉強する。
- 4 英語は単語と文法力を蓄える。2年終了時までには英語検定2級合格を目指す。
- 5 国語は「みるみる」と「核心漢字」を完璧に覚え、毎日、本を読む。
- 6 模擬試験を受けてみる。受けたあとに、弱点分野を補う。

